



昨年9月に開催された認知症市民フォーラム



● 狭山元気大学の修了生が活躍中！

昨年度の「コミュニティビジネス起業コース」を修了した小沢浩さんが代表を務める「ユーアイネット柏原」が、



9月14日、受賞の喜びを市長へ報告「広域関東圏コミュニティビジネス起業プランコンペ2011」で最優秀賞を受賞しました。これは、国の地域社会雇用創造事業の一環として設けられたもので、住民による住民のための生活支援とコミュニティサロン事業により、地域の活性化を図るビジネスモデルとして、1都10県の応募者の中から選ばれました。問合せ自治振興課へ内線2511

● 狭山市駅東口駅前広場の改良工事

今後の都市計画道路狭山市駅加佐志線の接続に伴い、通過交通と駅前広場利用者の安全を図るため、狭山市駅東口駅前広場の改良工事を行います。工事期間中はご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。工事期間11月上旬～平成24年7月末(予定)

狭山市駅東口駅前広場完成予想図



問合せ工事は道路雨水課へ内線2131
東口駅前計画は街路整備課へ内線2218

狭山市要援護高齢者等

実態把握調査の結果を公表

3月から5月にかけて、一般高齢者、要支援・要介護認定(軽度・重度)を受けている方を対象に、介護保険サービスの利用状況や評価、高齢者の保健福祉施策などに関する意識調査を実施しました。ご協力をいただきました皆さん、ありがとうございました。

調査結果の概要

平成24年度から26年度を計画期間とする、新たな高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料

にするため、国から提示のあった「日常生活圏域ニーズ調査」の内容をベースに、数値や利用実績だけでは把握が難しい対象者の意向などの調査を行い、合計で4千520件の回答をいただきました。

市長随想 媛



狭山市長 仲川幸成
似顔絵・花倉正喜氏

私を語ってくれた敬老会

9月は市内各地で敬老会が催され、私もお招きを受けて挨拶をさせていただきました。今年度はNHKの放送劇「君の名は」を題材としながら往時を振り返り、望みを持ち続けることの大切さを話しました。

ある席で、一人のおじいさんが話しかけてくれました。あな

実態把握調査の概要

調査種別	一般高齢者調査	要支援・要介護(軽度) 認定者調査		要介護(重度) 認定者調査	
		在宅の方で要支援1・2、または要介護1・2の認定者	施設入所の方で要支援1・2、または要介護1・2の認定者	在宅の方で要介護3～5の認定者	施設入所の方で要介護3～5の認定者
調査対象	要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方	在宅の方で要支援1・2、または要介護1・2の認定者	施設入所の方で要支援1・2、または要介護1・2の認定者	在宅の方で要介護3～5の認定者	施設入所の方で要介護3～5の認定者
配布票数	3,000件	2,573件	211件	990件	699件
有効回収票数	2,122件	1,566件	85件	457件	290件
有効回収率	70.7%	60.9%	40.3%	46.2%	41.5%



一般高齢者の調査から

「国の介護予防のための基本チエックリスト」に該当する設問に回答をいただきました。その結果、将来、認知症予防が必要となる可能性のある方が32・8%、うつ予防が必要となる可能性のある方が21・7%、運動機能の予防が必要となる可能性のある方が14・3%いることが分かりました。

「介護保険料についてどう思いますか」

介護などのサービスを必要としていない方の75・9%が高いと感じている一方、サービスを利用している方で高いと感じている方の割合は、軽度の在宅者が40・8%、重度の在宅者が47・9%、軽度の施設入所者が50・8%、重度の施設入所者が41・4%でした。

「認知症高齢者への取り組みで必要なことは何ですか」

介護を受けていない一般高齢者、軽度の在宅者、施設入所者の調査では、「相談機関の充実」が最も多い回答でした。重度の在宅者の介護を行っているご家族は、認知症高齢者向けの介護等サービスの充実が最も多く、高齢者の10人に1人が認知症になる予測がある中、その取り組みが急務となっています。

「介護を続けていくことに不安はありますか」

それぞれの介護者家族への質問に対して、「大いに不安」「少々不安を合わせた割合は、軽度の在宅者が59・6%、重度の施設入所者が48・2%、重度の在宅者では79%の方が不安を抱えています。

「介護保険制度をより良いものにするために何が必要ですか」

軽度の在宅者、軽度の施設入所者、重度の在宅者のいずれの調査でも、サービスを担う人材の資質を高める」という回答が最も多い結果となりました。

調査結果を踏まえて

市では、調査結果を参考として、第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定を進め、今後の良質なサービスの確保と提供に努めていきます。さらに、高齢者への支援ネットワークの充実、効果的な介護予防事業の推進などを図ります。なお、調査結果は、市役所2階行政資料室でご覧いただけるほか、ダイジェスト版を公式ホームページに掲載しています。

問合せ介護保険課へ内線1553

市長の主な動き



9/1～29...市議会第3回定例会
9/3・4・10・11・17～19・21...各地区敬老会
9/15...不老川流域対策推進協議会要望活動
9/17...市内中学校体育祭
9/21...辞令交付式、狭山茶振興対策に係る要望活動
9/22...定例庁議、救援対策本部会議、危機対策本部会議
9/24...市内小学校運動会
9/26...振興計画審議会
9/27...都市計画審議会
9/27～30...登校交通安全指導

たが生まれて間もなく、常ちや(女私の母)から「男児が生まれ、ゆきなりと名づけた」と聞いたのを今でも覚えていた」とのことでした。その方は母の実家の隣組で、わが家のことをよく知っておられました。お話する中で、戦時中、私がお父さんの兄の運転する自転車の荷台にまたがって、何度も青柳に送っていた。いた記憶が鮮明にのみがえり、懐かしさでいっぱいになりました。その日は10分程の短い会話でしたので、翌日ご自宅に伺い、幼き日の私について話を聞きました。昨年、母、叔父、叔母と三人の身内が逝き、私の幼少期を語ってくれた親族はいなくなりました。私は仏前で亡き母に、その方から聞いたお話を伝えました。彼岸の入りの良い供養となりました。